

市立川崎病院の「外国人患者 受入れ医療機関認証」に疑問!

優先課題を理解できない 川崎市病院局!

本市の公立病院の一つである市立川崎病院が、一般財団法人日本医療教育財団が主催している『外国人患者受入れ医療機関認証制度』に申請し、去る6月6日に認証対象になったとのこと。

しかしながら、これまでも本市の市立病院は、市の内外を問わず外国籍住民の患者を多く受け入れ、適正な診療、診察を行って参りました。即ち、このような認証を受けなければならない特別な理由などありません。それよりも市立病院には、救急医療体制の強化のほか、医師、看護師、医療事務者の処遇改善など、優先されなければならない課題が山積しています。そうした課題を先送りしてまで、なぜ認証を受けねばならなかったのか、実に理解に苦しみます。

以下、一般質問での議事要約を記載します。

認証取得のための様々なコスト

質問 三宅隆介

当該制度の認証を受けるために要した人的労力と費用について伺う。例えば必要書類の作成、申請に必要な諸々の準備等にどれだけの費用を費やしたのか。申請に関わる作業について外部に委託したのであれば、事業者名とその請負額についても伺う。

答弁 病院局長

認証機関に対する受審料が82万5,000円、院内文書の翻訳等の支援コンサルタントであるメディフォン株式会社に対する委託料が642万6,200円です。

三宅の視点 隆介の発想

外部委託までしてやることなのか

コミュニケーションに課題があるのはあたり前です。ここは日本国なので。とはいえ、このような認証制度を活用せずとも立派に対応している国内の医療機関はたくさんあります。例えば中国に日本語だけで完結する病院が一つでもあるのか!

なお、外部委託料が642万6,200円とのことですが、これ以外にも申請に必要な諸々の作業など、多くの人的労力が割かれています。

認証を維持するにも更なるコストが...

質問 三宅隆介

認証を維持するためには毎年必要となる作業及び支出、それに割かれる人員と金額についても伺う。

答弁 病院局長

院内各部署の職員約20名が参加する会議体を設置し、会議を月1回程度開催する予定で、費用につきましては、委託料を含めて今年度は約1,250万円となっております。

外国人患者による診療費の踏み倒し

質問 三宅隆介

市立川崎病院での外国人患者の診療費踏み倒しについて伺う。

答弁 病院局長

令和4年度の238万8,490円が現時点で入金されていない状況です。

国民健康保険までもが狙われている

質問 三宅隆介

本市が運営する国民健康保険の加入者のうち、外国籍加入者の出産育児一時金(1件=50万円)の支給件数について伺う。なお、対象者を出産した母親のうち、国保加入期間が1年未満、半年未満の方はそれぞれ何名いるのか伺う。

答弁 健康福祉局帳

外国籍の方に対する出産育児一時金の支給件数(令和5年度)は75件です。支給対象のうち本市国保加入期間が1年未満の方は12名、このうち半年未満の方は7名でございます。

三宅の視点 隆介の発想

出産育児一時金目当ての訪日出産!?

我が国では、外国人であっても3カ月以上の在留資格をもつと当該自治体の住民基本台帳に登録され、それと同時に「国民健康保険」に加入することができます。即ち、保険料をほとんど支払わずとも日本国民と同等の国保サービスが受けられるのです。答弁にあった7名は、国保に加入してわずか半年未満のうちに出産して国保を脱退していることから、出産育児一時金目的に訪日した可能性があります。

私は決して外国人の排斥を訴えているのではありません。どうしても福祉サービスを必要とする外国人がおられるのであれば、原則的には本国政府(国籍を与えている国)が責任を負うべきです。

川崎市議会議員

三宅隆介

令和6年 第二回川崎市議会定例会 報告

Title 1

河川空間を活用した 渋滞緩和策を提言!

五反田川放水路の事業効果発揮で
各橋梁の改修が可能に



保守の逆襲!

Title 2



市立川崎病院の 「外国人患者 受入れ医療機関」 認証に疑問!

市立病院には、救急医療体制の強化など、
優先されなければならない課題が山積しているのに



詳しい内容はYou Tubeでも!



<http://ryusuke-m.jp/>

三宅隆介

三宅隆介プロフィール

昭和46年3月23日生まれ。
大東文化大学文学部 卒業。コアサ商事株式会社を経て、
国会議員秘書。
平成15年4月 川崎市議会議員 初当選、現在6期目。
川崎市多摩区中野島在住。

河川空間を活用し、交差点を拡張せよ！

治水対策と渋滞緩和策の一石二鳥案を議会で提言！

三宅隆介は、河川空間（橋梁改修）を活用した渋滞緩和策を提言しています。

本市には、河川法の構造令の基準を満たしていない橋梁、及び河川断面を阻害している橋梁が複数あり、これらの改修が急がれています。

そこで、橋梁の改修（河川空間の活用）に合わせ、交差点を拡張するなどして交通渋滞を解消するよう議会で提案しています。

以下、6月定例会（一般質問）での質疑要約を記載します。

三宅の視点 隆介の発想

五反田川放水路の事業効果を最大限に発揮せよ

これまで平瀬川水系の河川は50ミリ対応での改修がほぼ完成していた一方、二ヶ領本川は35ミリ対応の流下能力しか有していなかったことから、極めて治水安全度の低い河川でした。

しかしながら、このたびの『五反田川放水路』の完成と運用に伴い二ヶ領本川の治水安全度は一挙に高まりました。これまでは、二ヶ領本川の流下能力の制約から、当該河川での橋梁の架け替え、あるいは河川部分のボックスカルバート化*なども不可能でしたが、五反田川の洪水については、『五反田川放水路』を活用して多摩川に直接放流できるようになったことから、そうした橋梁の改修が可能となりました。

よって、『五反田川放水路』の機能を大いに活かし、橋梁の架け替え等によって各交差点の改良を進め、交通流の円滑化や安全確保を図っていくべきだと考えます。

用語解説

ボックスカルバート化
四角い空間断面のあるコンクリート構造物（ボックスカルバート）の設置による河川の暗渠化



稲生橋交差点 府中方面から宿原方面の渋滞



稲生橋交差点 都市計画道路（向ヶ丘遊園駅管生線）の渋滞

計画高水位を満たしていない橋梁

質問 三宅隆介

市内には、例えば平瀬川水系の平瀬川、二ヶ領本川、五反田川などに多くの橋が架かり、とりわけ五反田川には一級河川指定以前から架設されているような古く老朽化した橋梁が幾つかあります。そこで現状において、河川法の河川管理施設等構造令の基準を満たしていない、すなわち計画高水位と余裕高をクリアしていない橋梁は幾つあるのか、河川ごとに伺う。

答弁 建設緑政局長

計画高水位などを満たしていない橋梁数については、未改修区間にある40橋、一級河川平瀬川支川では4橋、一級河川二ヶ領本川では9橋、一級河川五反田川で1橋、準用河川五反田川では20橋、普通河川平瀬川支川では5橋、普通河川矢上川では1橋でございます。

河川断面を阻害している橋梁

質問 三宅隆介

五反田川合流部下流域の二ヶ領本川及び平瀬川において、河川断面を阻害している橋梁数と橋梁名を伺う。

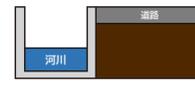
答弁 建設緑政局長

五反田川放水路の整備効果を検証するために実施した氾濫解析により、五反田川合流部下流域の二ヶ領本川及び平瀬川に河川断面を阻害していることが判明した橋梁が二ヶ領本川に8橋ございまして、上流から、朝日橋、本村橋、木村橋、新開橋、長尾橋、豊年橋、丸池橋、長芝橋でございます。

ボックスカルバート化による稲生橋交差点の改良イメージ

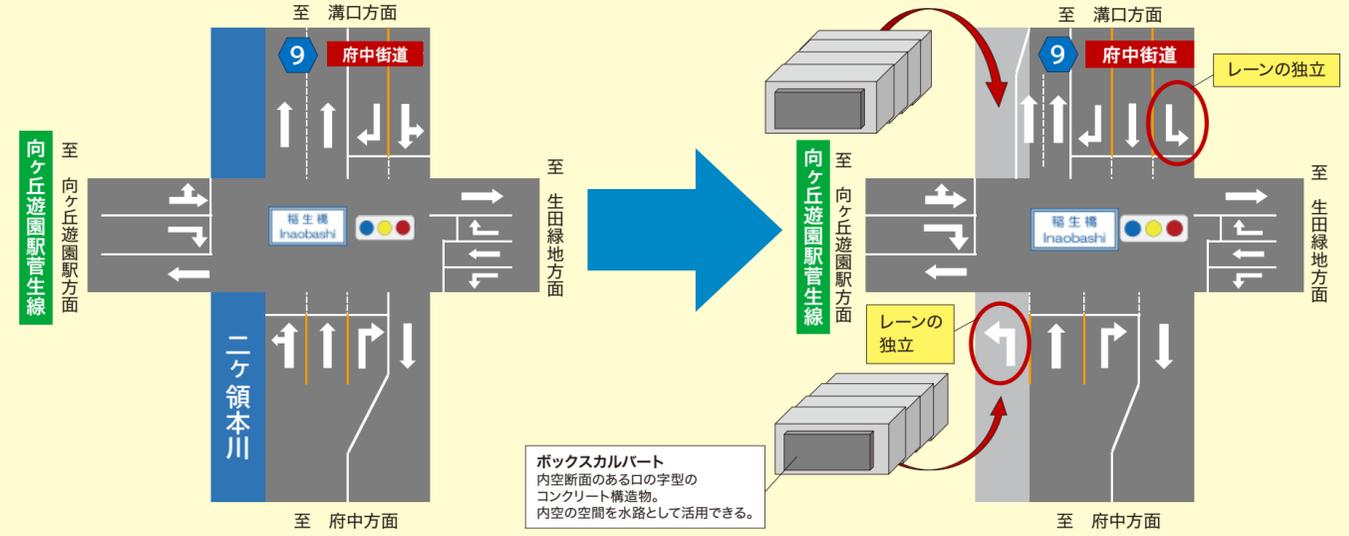
現状

道路幅員が狭いため、右左折レーンを独立して設置できず渋滞の要因となっている。



改良案

コンクリート製のボックスカルバートの設置により河川を暗渠化することで、河川空間分の敷地面積の確保が可能となる。幅員の拡張により、右左折レーンを独立化させることで、交通の円滑化が期待できる。



拡張が求められる稲生橋交差点

質問 三宅隆介

稲生橋のように交差点に近い橋梁については、架け替えもしくはボックスカルバート化により交差点を改良するのが望ましいと考える。事業の可能性について伺う。

答弁 建設緑政局長

稲生橋交差点につきましては、平成30年度に市道多摩5号線の生田緑地側の左折レーンを増設し、直進車と分離するなどの交差点改良を行ったことにより渋滞の緩和が図られたところでございますが、交差点改良後に交通状況が変化し、平日朝夕のピーク時などに渋滞が発生している状況でございます。稲生橋の交差点改良につきましては、今後、当該交差点の交通状況を調査し、その結果を基に、交通管理者、河川管理者、地元などと協議調整を行い、事業の可能性について検討してまいります。

河川空間を利用した交差点改良の可能性

質問 三宅隆介

ご答弁によれば、交通状況の調査の予算化に向け取り組んでいただけたことですが、その調査結果により、仮に交通状況の悪化が確認でき、当該交差点の改良が必要と判断された場合、その対策として河川空間を有効利用する可能性について伺いたい。

答弁 建設緑政局長

当該交差点における渋滞につきましては、交通量の増加や交差点形状など様々な要因が考えられることから、今後実施する交通量調査においてその要因を分析し、交通の円滑化に向けた対応を実施する場合には局所的かつ即効的な対策も引き続き検討していくとともに、必要に応じて河川空間を活用するなどの抜本的な対策の可能性についても確認してまいります。

三宅の視点 隆介の発想

交差点の拡張により右左折レーンを確保せよ

多摩区の稲生橋交差点などは、『五反田川放水路』の事業効果を発揮して交差点を改良できる典型的な橋梁です。

なお、当該地区には向ヶ丘遊園跡地などがあり、この跡地に商業施設等が整備されれば、近隣の交通状況は今よりも悪化することは必定です。現在でも平日の朝夕、土日休日は渋滞が見られることから、交差点の改良により右左折のレーンを新たに確保することが効果的と考えます。『五反田川放水路』が整備されたことにより稲生橋の改良が可能となりましたので、交差点を拡張できる最大のチャンスです。

三宅の視点 隆介の発想

現実味を帯びてきた！稲生橋交差点の拡張

建設緑政局長から、実に前向きな答弁をいただきました。ここで言う「河川空間の活用」とは、稲生橋の架替え、もしくはボックスカルバート化によって、稲生橋交差点そのものを拡張することを指しています。交差点が拡張されることにより新たに右左折レーンが設けられるため、必ずや交通流の円滑化がもたらされます。